

# 希望の花

第56号(平成28年12月22日)

兵庫県立視覚特別支援学校 発行

〒655-0884 神戸市垂水区城が山4-2-1

TEL 078-751-3291

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~kenritsu-svn/>



## いきいきふれあいコンサート

11月25日(金)に大阪交響楽団の方々をお迎えして、金管五重奏による「いきいきふれあいコンサート」が行われました。今回は事前に「ホースホルン」「ペットボトルマラカス」の作り方を教えていただき、当日それらを使って共演するという楽しい企画付きです。中学部、高等部普通科生徒対象の事前学習では、ホルンの音の出る仕組みも教えて頂き、皆でなんとか演奏できるようになりました。本番は楽しいお話に交えて指揮者体験もあり、美しい音色に心とむひとときとなりました。



## 小学部 原体験授業

12月9日(金)5校時に兵庫県立神戸鈴蘭台高校の泉先生と生徒2名が来校して、音の実験をしてくださいました。今回の授業に参加した児童たちは、今まで泉先生の授業を2回受けました。以前の原体験授業がとても楽しく、当日も朝から待ち遠しくてしかたがない様子でした。ボール(調理器具)に水を入れ、フチをこすって音を出す実験では、音の振動で噴水のように水が舞い上がり、ピチャピチャと顔に水がかかりました。児童は大はしゃぎで、更にボールのふちをこすって、音と水の動きを楽しんでいました。また、竹の一方だけ節を残して切り、その節に穴を開けた竹筒が児童に渡されました。その穴に息を吹き込むと低いホラ貝のような音や高いゾウの鳴き声のような音がしました。「なかなか音が出ないのに、みんなはすごいね。」と、泉先生に褒めていただいた児童は、ご満悦でした。今回の原体験授業では、音を耳からだけではなく、振動や水の動き等で認識できたことに、児童は驚きでいっぱいのような様子でした。「どうして音は鳴るの难道?」という素朴な疑問を、楽しい実験で体験することができました。



## 校内点字大会

12月9日(金)中高生徒の中間考査最終日の午後、校内点字競技会が開かれました。夏の点字競技会は点字使用者のみの競技会でしたが、今回は点筆を初めて持つ人もいて、点字の見本用紙とにらめっこをしながら点字の練習をしていました。先生と生徒が入り乱れての総勢21名のメンバーで、個人種目のメ書きや50音書きの早さ比べ、チームに分かれてのメ書きリレー、点字しりとりを楽しみました。終始わいわいとにぎやかで、結果発表では大いに盛り上がりました。これからも、大勢の人たちが点字に親しむ機会があることを願っています。



## 高等部 舞子高校交流および共同学習

本校では、平成17年より舞子高校との防災に関する共同学習を途切れることなく行ってきました。今年度の2回目は、本校でフロアーバレーボールのゲームと避難所設置体験を行い、舞子高校環境防災科から15人の生徒が参加しました。フロアーバレーでは、舞子生と本校生が混合でチームを作り、リーグ戦をしました。舞子生には、アイシェードを着用する前衛、指示や声掛けが必要な後衛の両方を体験してもらい、プレーの難しさや楽しさを味わってもらえたようです。避難所設置でもバレーのチームごとに活動しました。各グループは、「ペットや乳児、お年寄りがいることを想定した避難所作り」という課題の中で共に知恵を出し合い、戸惑いながらも協力して積極的に取り組んでいました。

